

2026 年 四国アイランドリーグ plus 公式戦ルール

◆試合方式

(1)

2026 年公式戦は、2026 年 3 月 28 日(土)から 2026 年 9 月 21 日(月・祝)までとする。

対象試合は、加盟 4 球団間の試合ならびに以下の交流戦とする。

・福岡ソフトバンクホークス 3 軍(各球団 4 試合)

・読売ジャイアンツ 3 軍(各球団 1 試合)

・海外プロ球団(各球団 3 試合)

※海外プロ球団の詳細については追って発表いたします。

(2)

公式戦は 2 シーズン制とし、ファーストシーズンおよびセカンドシーズンそれぞれの成績により順位を決定する。

(3)

各シーズンの対象試合数は以下のとおりとする。

◆ファーストシーズン

期間:2026 年 3 月 28 日(土)~2026 年 6 月 28 日(日)

内容:加盟 4 球団によるリーグ戦

1 球団あたり 36 試合(総試合数 72 試合)

◆セカンドシーズン

期間:2026 年 7 月 25 日(土)~2026 年 9 月 21 日(月・祝)

内容:

・加盟 4 球団によるリーグ戦 1 球団あたり 30 試合(総試合数 60 試合)

・交流戦 1 球団あたり 8 試合

内訳

福岡ソフトバンクホークス 3 軍 4 試合

読売ジャイアンツ 3 軍 1 試合

海外プロ球団 3 試合

セカンドシーズンは、1 球団あたり合計 38 試合とする。

※交流戦の勝敗および個人成績は公式戦成績に算入する。ただし、交流戦対戦相手側の成績は

含まない。

※交流戦が雨天等により中止となった場合は、原則として代替試合を行わず引き分け扱いとする。

ただし、当該試合に予備日が設定されている場合は、当該予備日に代替試合を実施する。

※一部の交流戦は 2026 年 7 月 24 日以前に開催される場合があるが、これらの試合成績はすべてセカンドシーズンの成績として算入する。

(4)

公式戦は 9 回制とし、延長戦および引き分け再試合は行わない。

(5)

予備日を含め悪天候等により全日程を消化できなかった場合は、その時点の成績により順位を決定する。

(6)

ダブルヘッダーは 7 イニング制とする。

◆選手登録・外国人枠

- ・支配下登録は 25 名以内とする。
- ・外国人選手は 3 名まで追加登録可能とし、最大 28 名とする。
- ・選手および練習生の合計登録上限は 43 名(外国人枠を含む)とする。
- ・練習生は公式戦に出場できない。

外国人選手の定義は、日本国籍を有しない選手とする。

ただし、以下のいずれかに該当する者は外国人選手とみなさない。

- ・契約締結以前に日本の中学校・高等学校・短期大学(専門学校含む)に通算 3 年以上在学
- ・契約締結以前に日本の大学に継続して 4 年以上在学、または全日本大学野球連盟加盟団体に 4 年以上在籍
- ・契約締結以前に日本に 5 年以上居住し、日本野球機構または日本野球連盟所属チームに通算 3 年以上在籍

◆指名打者

指名打者制を採用する。

◆予告先発

リーグ戦において予告先発制を採用する。

交流戦では予告先発制を採用しない。

◆規定打席・規定投球回

- ・規定打席＝所属球団試合数 × 2.7
- ・規定投球回＝所属球団試合数 × 0.8

◆ピッチクロック

ピッチクロックを採用する。
運用ルールは別紙に定める。

◆兼任選手

- (1) 監督およびコーチの兼任選手を認める。
- (2) 1試合に出場できる兼任選手は各球団2名までとする。
- (3) 兼任選手が出場する場合、兼任選手以外の監督・コーチ合計2名以上がベンチで指揮を執らなければならない。
- (4) 出場していない兼任登録者は指揮者人数に算入できる。
- (5) 兼任選手が交代により退いた場合、その時点から指揮者人数に算入できる。
- (6) 兼任選手として出場するには、事前に選手登録を完了していなければならない。

◆各シーズン優勝決定方法

- (1)
各シーズン優勝は勝率により決定する。
引き分け試合は勝率計算から除外する。

勝率＝勝数 ÷ (勝数＋敗数)

- (2)
同率の場合は以下の順で決定する。
 - ①当該シーズン直接対戦の勝数
 - ②当該シーズン得失点差
 - ③当該シーズン総得点

◆年間総合優勝決定方法(トリドール杯チャンピオンシップ)

- (1)
ファーストシーズン優勝球団とセカンドシーズン優勝球団が最大3試合を行い、2勝先取球団を年間総合優勝とする。

(2)

ファーストシーズン優勝球団は第 1 戦および第 3 戦のホーム権を有する。

セカンドシーズン優勝球団は第 2 戦のホーム権を有する。

(3)

同一球団が両シーズン優勝した場合

- ・当該球団に 1 勝のアドバンテージを付与する。
- ・年間勝率 2 位球団と最大 2 試合実施する。
- ・年間勝率 1 位球団は第 1 戦のホーム権、年間勝率 2 位球団は第 2 戦のホーム権を有する。
- ・アドバンテージを含め 2 勝先取で年間総合優勝とする。

(4)

9 回終了時同点の場合、延長タイブレーク(無死 1・2 塁)を行う。

延長 15 回終了時点で同点の場合は引き分けとする。

(5)

3 試合終了時点で

- ・1 勝 1 敗 1 分

または

- ・全試合引き分け

の場合は、予備日に追加 1 試合を行う。

この試合は勝敗が決するまでタイブレークを継続する。

(6)

予備日を含め試合消化が不可能となった場合は

- ①CS 失点率(総失点÷総イニング数)
- ②公式戦年間通算勝率
- ③当該カード年間対戦成績

の順により年間総合優勝球団を決定する。

◆NPB チャレンジカップ

(1)

NPB 球団との交流戦を「NPB チャレンジカップ」とし、カップ戦の成績により順位を決定する。

※NPB 球団の成績は順位に含まない。

(2)

対戦チーム・試合数

福岡ソフトバンクホークス 3 軍との交流戦(各球団 4 試合、計 16 試合)

読売ジャイアンツ 3 軍との交流戦(各球団 1 試合、計 4 試合)

合計 20 試合を NPB チャレンジカップとする。

(3)

優勝決定方法

勝率により優勝を決定する。

引き分け試合は勝率計算から除外する。

勝率が同率の場合は

①得失点差

②総得点

の順で決定する。

いずれも差がつかない場合は該当球団すべてを優勝とする。